

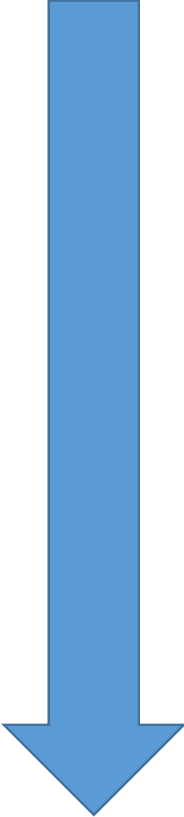
厚木市(仮称)未来館 内装・展示基本設計の概要

※基本設計段階の検討のため、今後実施設計を進めることで変更が生じる場合があります。



令和5年3月
厚木市

1 これまでの経緯と今後の予定

- 
- (仮称)こども未来館基本構想策定(平成29年11月)
 - 厚木市複合施設等整備基本計画策定(令和2年1月)
 - (仮称)未来館内装・展示基本設計完了(令和5年3月)
 - 実施設計着手(令和5年度予定)
 - 展示等の作成、整備着手(令和7年度予定)
 - 供用開始(令和9年度予定)

2 基本計画からの変更のポイント

— 基本計画における基本理念 —

**子どもたちの未来へのチカラをみんなで育て、
伸ばしていくコミュニティプレイスの創造**



— 基本設計における基本理念 —

**厚木市民の未来へのチカラをみんなで育て、
伸ばしていくコミュニティプレイスの創造**

■変更の理由

対象を子どもから大人まで幅広い年齢層を対象とした施設に改めたため、「基本理念」を子どもだけではなく大人も対象とした表現に変更した。

— 基本計画における目標像 —

1. 「ワンダー」に出会える活動拠点
2. ワンダーに出会い、ワンダーを育む、ワンダーの連鎖



— 基本設計における目標像 —

1. 「ワンダー」に出会える活動拠点
2. 自分の中のワンダーの種と出会い、芽を育て、花を咲かす。ワンダーを实らせて、ワンダーの森を育てる。

■変更の理由

考え方の変更はなし。ワンダーは自分の外にあるものではなく、内面に既に存在していて、その部分に気づき、育てるステップという表現とした。

3 基本設計における事業計画

—基本理念—

厚木市民の未来へのチカラをみんなで育て、伸ばしていく
コミュニティプレイスの創造



「未来」とは・・・「いい日々、いい時間。」(複合施設整備の基本理念に同じ)

「未来へのチカラ」とは・・・予測困難なこと、様々な課題、それらを乗り越え、今を、未来を「生きる力」

⇒ 「ワンダー ※1」をキッカケに自ら学び、考える力を身に付け、自らの可能性に気づき、それを広げることで、自分と地域の未来を切り開くことを支援する施設

「コミュニティプレイス」とは・・・生涯学習や人材育成を支える新たな交流の拠点

※1 ワンダー・・・何かを知りたいと思う心、好奇心、探求心、不思議、驚き、疑問などの総称

3 基本設計における事業計画

— 基本設計における事業計画 —

1. まなび・あそび支援事業 ● ワンダーの種と出会い、芽を育て、花を咲かす

自分の中のワンダーの種と出会い、ワンダーの芽を育て、自分の花を咲かす。

「ワンダー」の発見と探求を支援。様々な遊びや体験を通して「ワンダー」に出会うきっかけを提供するとともに、「ワンダー」を楽しむための活動を支援する。

■基本計画からの変更点
考え方の大きな変更はなし。ワンダーの連鎖との対応関係を明確化。

2. 成長支援事業 ● ワンダーを实らせる

ワンダーコミュニケーター※巻末注3 活動を支援する。

ワンダーを楽しむために市民とのつなぎ役となるワンダーコミュニケーター活動を支援する。未来館のサポーターという位置づけではなくプレイヤー。未来館の運営にも関わりながら、自らの成長につなげられる仕組みを作る。

■基本計画からの変更点
コミュニケーターを「自らの成長のために未来館の活動に自主的に関わってくれる市民」という位置づけで検討し、市民との協働による運営を進める方向とした。

3. 交流支援・ネットワーク形成事業 ● ワンダーの森を育てる

来館者のワンダーの発信をサポートして来館者同士のワンダーの交流を支援する。

図書館との融合や、外部連携を通じた交流事業の拡充。これまで子ども科学館が単独で行っていた交流事業を、図書館との融合や、企業や大学・市民との外部連携によって拡充し、頻度の高いコンテンツの更新につなげる。また、外部連携やアウトリーチ活動等を通じて、館の中だけでなくワンダーを厚木市全体で展開して行く。

■基本計画からの変更点
外部連携に加えて、市内全域に未来館の活動ネットワークを広げるために、アウトリーチ活動を追加。

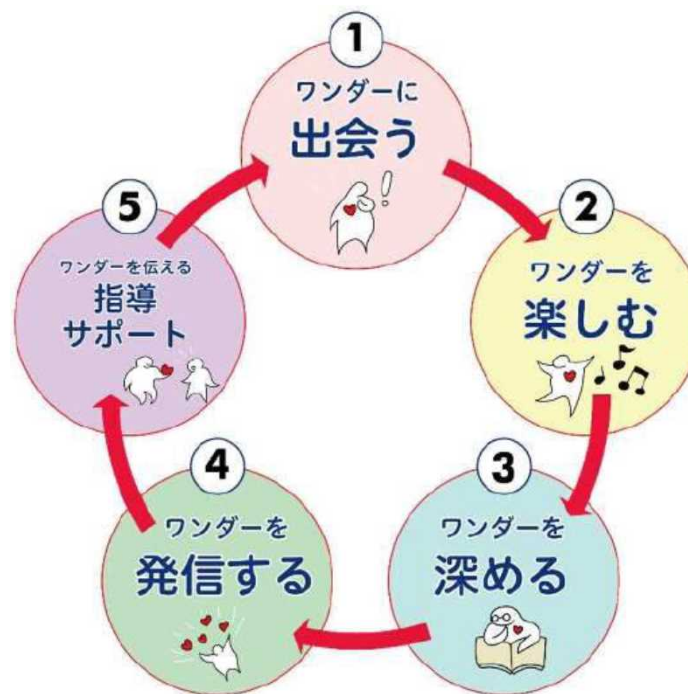
4. 調査研究・コンテンツ開発事業 ● 土を耕す

ワンダーコミュニケーター等とのコンテンツの共同開発を行う。

ワンダーコミュニケーター等とのコンテンツの共同開発。常に新鮮なコンテンツを利用者に提供するため、日常的な調査研究・コンテンツ開発に取り組む。

■基本計画からの変更点
変更なし。

【参考】ワンダーの連鎖のイメージ(基本計画より)



4 全体概要 —施設のコンセプト—

「ワンダー」に出会える活動拠点 ~自分の中のワンダーの種と出会い、芽を育て、花を咲かす~

自分と他者のものの見方や感じ方を知る中で興味関心の種を見つけ、その種を様々な体験によって育て、さらに、育てた興味関心を日常生活の活動に広げ、その成果を未来館で発表。それが他の人の新しい興味関心の種となり、新たな活動となっていく。

厚木中に個性の花が咲く!



5 諸室配置の考え方

興味関心のきっかけとなる展示と様々な「やってみる」「体験してみる」ことができる諸室を一体的に整備し、多様な興味関心から日々の行動につなげる。

1 常設展示



「五感」や「記憶」を辿りながら、自分の内面や他者の様々な視点・感性と出会う。自分の内面と向き合う展示と、他者の視点・感性と出会う展示で構成。忘れていたり、気が付かなかった自分のワクワク・ドキドキを見つめ、世界を広げる。

2 特別展示



連携展示の発展版や常設展示で扱っていない内容から新たな視点と出会う。融合連携展示で取り上げた内容や常設展示の一部を深堀りしたり、広げたりするテーマ展示を、年に4回程度行う。人気の展示は常設展示に反映していく。

3 モバイル展示



1、2階でサテライト展示を行い、5階にある未来館の展示に興味をもつきっかけを得る。下層階で未来館の展示をフックポイントで紹介し、上層階にあるプラネタリウムや常設展示・特別展示へ興味を喚起する。

4 工房



様々なものづくり機材を利用しながら、興味をもった事柄について実際に「つくってみる」。アナログ・デジタルの様々なものづくりが可能な設備を兼ね備えたスペース。展示やイベント等で興味をもった事柄について、実際に形にしてみる事ができる。

5 実験室



火気や水が使用できる特別な部屋で、興味をもった事柄について実際に「ためしてみる」。火気や水を使った実験が可能な設備を備えたスペース。展示やイベント等で興味をもった事柄について実験してみることができる。プラネタリウムと組み合わせた講座なども想定。

■ 配置図



ねらい

- 訪れる市民の心を刺激し、多様な興味関心の種を育み、行動へと導く。
- 興味関心を通じて市民の交流を促し、厚木に新たなムーブメントを生み出す。
- 図書館や庁内他部署との連携により、新たな市民サービスを提供する。

6 研修スペース



様々な人の話を「きいてみる」自分から「話してみる」。

集会や講座等、人が集う多目的なイベントに使用できるスペース。未来館の活動に参画するワンダーコミュニケーターの養成講座やWSなども行う。

7 ミニ植物園



様々な「五感」をフルに活用して、土や植物などの自然に「ふれてみる」。

様々な植物を栽培するスペース。土や植物に触って自然を観察したり、育てたりできる。視覚だけでなく、聴覚や触覚、嗅覚を実際に使ってみる体験ができる。

8 天体観測室・屋上展示



天体観測を通じて交流し、環境問題や哲学、文学などの多様なテーマについて考える。

天体観測設備を完備したスペース。天体観望を通じて環境問題に気づいたり、周辺学問との結び付きを深めたりする場。他地域の天体観測ドームと連携して市街地のデータと比較するなど、未来館ならではの活動を行う。

9 プラネタリウム・全天周シアター



宇宙空間やマイクロ世界など、普段の生活では見られない様々な世界をバーチャルで体験する。全天に映像投影ができるドーム空間。プラネタリウムの星空投影をはじめ、ドームを活かした様々な世界への没入体験ができる。多様な映像コンテンツの上映やイベント空間にも活用する。

10 ティーンズラウンジ



青少年同士が気軽に集い、交流し、新たな活動を広げる。

青少年を対象にフリーラウンジや交流の場として利用できる。利用者の活動を相互に知ることができる場とし、コラボレーションも支援する。

6 連携展示配置の考え方

図書館や庁内各課のコンテンツを「ワンダー」を切り口に連携。
低層階の賑わい作りに貢献しながら、上層階の未来館に誘客することを狙う。

11 庁内連携展示



- 全体連携展示**
市で発信しているテーマや季節イベントに、未来館らしい発想で切り込み、ワンダーにつながる視点を展示で発信する。
- 広報課連携展示（熱気人展示）**
「広報あつぎ」と連携し、様々な「熱気人」のワンダーを紹介する。

12 図書館連携展示（図書館チームと調整中）



- 暮らしのシーン展示**
「いい日々」と「ライフイベント」のふたつのテーマを軸に、図書館と未来館、庁舎コンテンツのインデックス展示を行う。
- 書棚内展示**
書棚を巡りながら、「圖書のワンダーと出会える」ミニ展示を散りばめる。
- 市民活動棚・ワンダーボックス**
市民活動団体等に貸し出すレンタル展示ボックスを配置する。
- 厚木の偉人展示**
貴重資料や地域資料と合わせて、厚木ゆかりの文学者等のワンダーを紹介する。
- ワンダーライブラリー**
未来館の展示に関連する図書を図書館が選書しワンダーを広げる図書の展示を行う。
- ミニシアター**
図書館、未来館、庁舎のコンテンツに関わる映像を来館者が選んで視聴。



13 広場スペース



- ワンダーギャラリー**
市民のワンダーを展示するスペース。可動式間仕切りや台を使って、広場内の一角に小さな展示空間を構成する。
- イベントステージ**
吹き抜けや屋外を活用して様々なイベントを開催。プレゼンテーションやコンテスト、トークイベント、サイエンスショーのほか、様々な発表等に活用する。

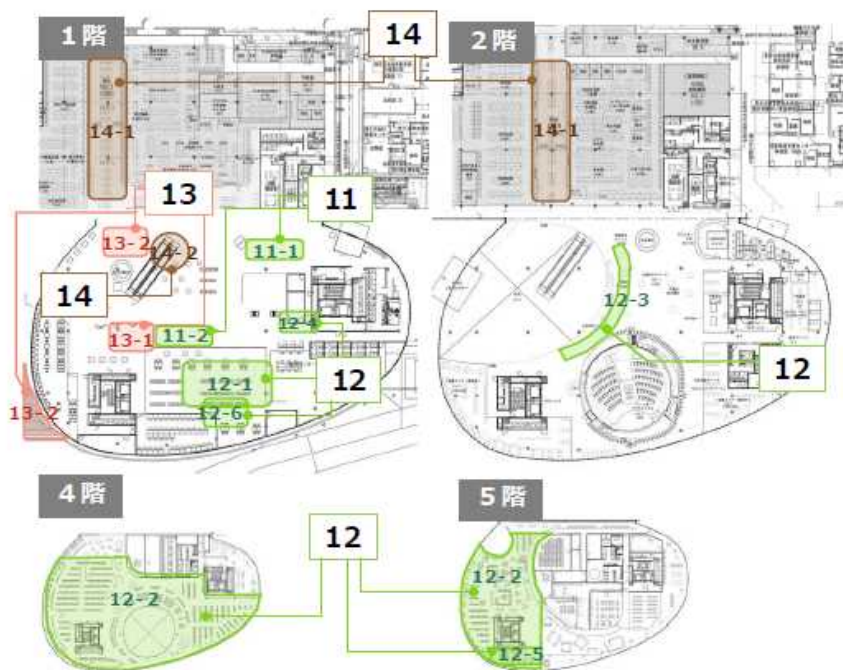
14 未来館に誘導する仕掛け

- 庁内待合室展示**
庁舎1・2階の待合室にいる市民に楽しんでもらいながら未来館をPRする仕掛けを作る。
- バナーPR**
エスカレーターの吹き抜け箇所にバナーを吊るし、特別展等の情報を発信する。

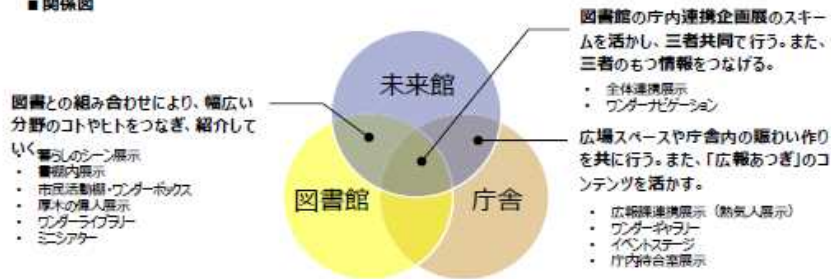
ワンダーナビゲーション

自分の興味関心に合わせて様々な情報を知る。
個人の興味関心に応じたおすすめ展示や諸室の活動等を指南するシステムによって様々な情報とつながる。

■配置図



■関係図



7 市民参画の考え方

■ 市民を巻き込んだ運営案

未来館のヒト・モノ・コトをつなげる運営の主体的なプレイヤーとして「ワンダーコミュニケーター」を設置する。

ワンダーを実現せる

ワンダーの夢を育てる

ーワンダーコミュニケーターの管理・運営の流れー

ワンダーコミュニケーター事前講習プログラム



サポーターではなくプレイヤーの位置づけ。
卒業生としての登録はあるが組織化はしない。

3年間の育成プログラムにボランティアで参加していただき、卒業後は各自で自由に活動を展開。活動のための視点やスキルについて講座やイベント運営の中で学べる。

スキル①: 館と来館者をつなぐ「インタープリター」

展示やイベントの際に、来館者とコミュニケーションをとりながら解説を行ったり、展示を通して理解やワンダーを育むことのできる市民を公募し、未来館と来館者のつなぎ役として活動してもらう。



出典: とひらプロジェクト 出典: 日コソバで経済新聞

スキル②: 企画に参画する「プランナー」

未来館が行う事業の企画立ち上げから実際の運営などに携わってもらう。リタイアしたシニア層や、地域の大学生、その他有志の方などを想定。



出典: とひらプロジェクト

スキル③: ワンダーを指導する「ティーチャー」

知識や技能、経験など、市民それぞれに秀でた内容を、市民が職員の代わりとなって来館者に伝える。登録制度を作り、公募だけでなく、美術展の受賞者や話題になった市民に声をかけてスカウトする。



出典: <https://www.scri-japan.or.jp/vc/flash/member/secure/spot/kern/20210409.pdf>

出典: 岡山県

ーイベントのイメージー



未来館から生まれた多様な「ワンダー人」が大集結する

「アツギ・ムチュウ人フェスティバル」

未来館から生まれた様々な「熱気人※巻末注1」の中の「熱気人」を、さらに発展させて「ムチュウ人」と認定し、その人の展示やワークショップ、ショーなどを組み合わせたお祭りを開催。全体の企画や運営は、ワンダーコミュニケーターが主体となって行い、祭りを通して新たなワンダーコミュニケーターを発掘していく。

1 ワンダー人の中のワンダー人を決める「ワンダーグランプリ」

展示部門、ワークショップ部門、ショー部門など、発表手法に分けて、それぞれの中で最もワンダーへの想いが深い人を選ぶコンテストを行う。企業協賛も依頼し、企業ごとの賞なども設ける。



出典: 日コソバで経済新聞 出典: カゴシマエッセイ 出典: 東京のルチャールチャール

2 各地区でワンダーを広めるサテライトフェス会場

各地区の公民館等にも展示やワークショップができるサテライト会場を設け、未来館の外でもワンダー人が発表をできる。地区対抗でコンテストを行い、市内で最もワンダーの深い地区を競う。



出典: 厚木市の公民館協議会 出典: タウンニュース

3 来場者の中から逸材を発掘するワンダーコミュニケーター相談所

お祭りの間、未来館の中にワンダーコミュニケーターになりたい方向けの相談所を設け、ワンダーに興味をもって来場した方をワンダーコミュニケーター活動に巻き込む。



出典: PLAYWORKS inc. 出典: とひらプロジェクト

4 厚木のワンダー人の魅力を外部に発信

広報やPRを行い、市外からの観光客にも楽しんでもらえるようガイドブックなども作成する。観光振興や交流人口の増加につなげる。



出典: 厚木市観光協会 出典: 厚木市観光協会